

被災者に真心の支援を

西日本豪雨 公明、街頭募金に協力

【東京】豊島区の「平成30年7月豪雨被災者救済の会」(岩永由美代表)は16日、JR池袋駅東口で街頭募金活動を行った。公明党東京都本部の高木陽介代表(衆院議員)と地元のと都議、区議が駆け付けた。

高木都代表は、今も多くの被災者が避難生活を強いられていると力説し、「皆さまからの真心のご支援をお願いします」と訴えた。



真心の募金に感謝の言葉を伝える高木氏(左から2人目)ら=16日 東京・豊島区



真心の支援を呼び掛ける高木さん(右から2人目)ら=16日 東京・江東区

これに対し、通行人は老若男女問わず快く募金に応じた。

一方、江東区の「平成30年7月豪雨被災者救済の会」(小嶋和芳代表)は16日、区内2カ所で街頭募金活動を行った。これには、公明党の高木美智代衆院議

員と地元のと都議、区議らが協力した。

高木さんは、多くの被災者が避難所での生活を余儀なくされている状況に触れ、「一日も早い復興に向

けて、真心の支援をお願いします」と呼び掛け、多くの通行人が募金に応じた。